

でいじめ問題についての認識を
広めるとともに、それとおし
て保護者の意見が反映される場
ともなるようにする。

(2) 保健日誌等から問題となるこ
とを取り上げて、養護教諭との
連携をとりながら、積極的に家
庭訪問や電話連絡をすることに
より問題の早期発見に努める。

三 おわりに

「いじめを受けた経験のある生徒
のうち三十二パーセントがだれにも
相談せずに我慢していた」との調査
結果が新聞に載っていた。このよう
な現状において、いじめの早期発見
のために我々教師が果たす役割は、
非常に大きく重要であると思われ
る。そのためにも、教師一丸となっ
て生徒との信頼関係を醸成するた
めの努力をし、生徒の心の問題に適切

に対応できる能力を身に付けるため
の実践的な研修に努めていきたいと
考えている。

研究実践 VII

「キラリと輝くひとみを持つ
子ども」の育成を目指して
いわき市立渡辺小学校

一 学校の実態

本校は、全校生百二十三名の小規
模校である。三方を小高い丘に囲ま
れた田園地帯で、米作りとハウスに
よる野菜の栽培が中心の純農村地帯
である。近年道路網が整備され、丘
陵地帯のリゾート施設建設等による
車両の往来も激しくなってきたい
る。

二 生徒指導推進のための基本的な 考え方

学校規模の大小や地域に関係なく
いじめや登校拒否等生徒指導上の問
題が潜在していることを全職員が認
識し学級経営にあたる。また、学級
の問題は学校全体の問題として対応
していく。

三 具体的な手法でと実践

1 児童の自己評価

「キラリと輝くひとみを持つ子
ども」を育成するために具体的な
めあてを持たせる。

例 二年生から六年生には、

- 自分の命は自分で守る。
- 何事も最後まで本気でがんばる。
- ひとのためになることを進んで
する。
- 物を大切に使う。

学校や家庭生活のあらゆる場と
機会を通して意識化・行動化でき
るよう指導し、学期ごとに自己評
価させる。また担任も評価し児童
とのずれを考察し学級経営に反映
していく。

2 学期ごと全員善行賞

子供よさを積極的に認め、励
まし、賞賛することにより自信を
持つて生き生きと生活させる。全
員がもらえるよう学級朝会や帰
りの会等での発表を奨励しあう。
朝会時には全校生の前で賞賛し意
欲づけを図っている。

また春休み(夏・冬)家族が推
せんする善行賞を実施し家族の一
員としての自覚と目的を持った安
全な生活ができるよう配慮してい
る。

3 校長講話

月、土曜日の朝会時の校長講話
を重視し、年間を通して「キラリ
と輝くひとみを持つ子ども」にな
るための具体的な話や道徳性を高
める話を継続して行っている。

4 校長室だより(職員)、学校だよ

り(職員・保護者)の発行

学習指導や管理面、生徒指導等
学校経営について校長の考えてい
ることや本校の課題について昨年
度は、七十七回発行した。また、
ビッグマリオン効果やしつけ等につ
いて保護者に協力を求め十二回発
行した。

四 まとめ

小規模校の特性を積極的にとら
え、学校・家庭・地域社会との連携
を重視し実施している。いじめを単
独でとらえるのではなく、学校経営
全体の中で教育目標とのかかわりか
ら考えている。今日も職員と力をあ
わせさやかな実践をしている。一
人一人の子へ目くばり・気くばり・
心くばりを大切にしながら……。

